

マスターズ甲子園 2006・埼玉大会試合規則

2006 年度公認野球規則・アマチュア野球内規・高校野球特別規則・ならびにマスターズ甲子園 2006 代表 OB 試合規則・埼玉県地方予選リーグ規則による。ただし、コールドゲームは適用しない。

出場選手と出場チームについて

- 1) 出場選手は高校硬式野球部部員・監督・コーチ・マネジャーの OB・OG であること。部員の OB・OG とは高校野球部に一時期でも在籍したことの在る者とする。
- 2) 出場選手は大学野球・社会人野球・プロ野球の現役選手でないこと。ただし、これらの OB・OG については出場を認める。
- 3) 埼玉県地方予選リーグに出場するチームは、主催団体である全国高校野球 OB クラブ連合に加盟し、マスターズ甲子園 2006 実行委員会が承認した OB 校に限る。
- 4) 地方予選リーグから 1 チームを選出する。代表チームの選出方法はトーナメント方式により規定の通り試合を行う。
- 5) チームの選手数は最低 9 名でベンチ入りされることとする。その内訳は制限を設けない。

試合方法・時間

- 1) 9 イニング、もしくは 1 時間 30 分打ち切りとする。(球場使用の時間制限の為) ただし、代表決定戦において、球場使用の時間制限に余裕のあるときは、幹事校の連絡代表者の合意において、決着のつくまで延長できる。最終的に打ち切りとせざるを得ない場合は、幹事校の連絡代表者の判断で決定する。同点で打ち切りとなった場合、初戦及び代表決定戦のいずれの場合も勝者の決定は抽選で行う。抽選の方法は試合終了時のメンバー 9 人ずつがホームベース前に整列し各自が 1 つずつ引き、当りが 5 個以上あったチームの勝ちとする。(先攻チームより抽選を行う)
* 1 時間 30 分を経過した後に新しいイニングに入らない。

使用球

対戦校同士の合意により決定する。ただし、代表決定戦は硬式で行う。

尚、使用球場に制約があった場合はこの限りではない。

用具・ユニフォーム・その他

- 1) 参加選手のユニフォームは必ずしも同一のものでなくてもよい。(背番号のダブリがあっても問題ない)
- 2) 試合中、打者走者は必ずヘルメットを着用する。

審判

- 1) 主審は第 3 者とする。塁審は試合を行う当該校より選出する (3 イニングまでは先攻のチームが 1 塁と 3 塁を行い、後攻が 2 塁とする。4 回以降は逆として最終イニングまで行う。塁審については、状況が困難な時は対戦校との協議により決定する。

その他

- 1) グラウンドルールは当日の協議により決定する。
- 2) 試合球は 2 個ずつ出し、必要に応じて各チームより提供する。